

平成 22 年度国立大学図書館協会地区協会助成事業報告書（東京地区）

地区名	東京地区（主担当大学：東京大学）
事業名	大学図書館職員研修「電子書籍を知る—大学図書館は何ができるのか—」
事業目的・趣旨	<p>電子ジャーナルの普及、貴重資料のデジタル化、電子書籍端末の登場など、急速なデジタル化資料の利用に伴い、大学図書館を取り巻く環境が変化してきている。そのうち、本研修では、電子書籍について取り上げる。</p> <p>著者と出版者という異なる立場からの電子書籍についての講演を聞き、今後の大学図書館の機能や役割について考える。また、少人数でのグループ討議を行うことにより、日常の業務はどうなっていくのかなど、講演内容と現在の自分とを結びつけて考える契機としたい。</p> <p>なお、この研修の企画・実施は東京地区国立大学図書館の若手職員（平成 18 年度大学図書館職員講習会受講者）が行い、研修の開催・運営自体が若手職員の研修の一環となっている。</p>
実施内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開催日時：平成 23 年 1 月 26 日（水）13:00-17:15 2. 開催場所：東京大学附属図書館大会議室 3. 参加者：34 名（国立大学図書館 29 名、私立大学図書館 5 名） 4. プログラム： <ul style="list-style-type: none"> 12:30-13:00 受付 13:00-13:10 開催挨拶 13:10-14:10 講演 1 電子書籍と図書館の未来 山内祐平（東京大学大学院情報学環准教授） 14:10-14:20 休憩 14:20-15:20 講演 2 専門書出版と「電子書籍」 黒田拓也（財団法人東京大学出版会営業局長） 15:20-15:30 休憩 15:30-16:10 グループ討議（グループ数 6 グループ） テーマ 大学図書館は何ができるか 進行 米澤誠（国立情報学研究所学術基盤推進部 学術コンテンツ課長） 16:10-16:20 休憩 16:20-17:00 オープンディスカッション コメンテーター 山内祐平、黒田拓也 コーディネーター 米澤誠

	<p>17:00-17:15 閉会、アンケート記入</p> <p>17:30-19:30 懇親会</p>
内容のまとめ	<p>講演 1</p> <p>教育の観点から、大学や図書館を取り巻く学術情報の電子化について、教育情報や教材の電子化によってもたらされるアクティブラーニングの状況について日本や海外の事例を含めた解説、電子書籍の方向性と大学図書館が取るべき方策について講演があった。</p> <p>講演 2</p> <p>学術出版社の観点から、出版業界全体や東京大学出版会の現状、学術出版社にとっての電子出版の可能性や問題点、学術出版社と大学図書館との関係をどのように考えているのかについて講演があった。</p> <p>グループ討議・オープンディスカッション</p> <p>電子書籍に関する 2 つの講演をふまえて、「大学図書館は何ができるか」をテーマに各グループに分かれ活発な討議を行った。</p> <p>オープンディスカッションでは、グループ討議で出た意見を各グループの代表者が発表し、その後、コメンテーターからのコメント、その他参加者からのコメント、質疑応答があった。</p> <p>大学図書館は、大学の教育や学習がどのようなものなのかを考えてサービスをしていかなければならないこと、また、教材についても理解を深めなければならないということを再認識することができた。</p>
アンケート結果	<p>研修の内容については受講者の 8 割以上が参考になったと回答しており、大変有意義な研修になったと言える。</p> <p>講演 1 における満足度：有効回答数 34</p> <p>とても参考になった：27</p> <p>やや参考になった：7</p> <p>講演 2 における満足度：有効回答数 33</p> <p>とても参考になった：15</p> <p>やや参考になった：12</p> <p>グループ討議における満足度：有効回答数 31</p> <p>とても参考になった：20</p> <p>やや参考になった：9</p> <p>オープンディスカッションにおける満足度：有効回答数 31</p> <p>とても参考になった：19</p> <p>やや参考になった：11</p>

	<p>今後希望する研修、講演会等についての自由記述では、次のような回答があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 久しぶりに研修らしい研修を受けました。昨今の財政状況により単一大学図書館では難しいのが現状です。Topic もそうですが、このような機会の提供を今後ともお願いいたします。 ・ 同じテーマでも変化の激しい分野なので定期的を開催してほしい。 										
経費	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">合計</td> <td style="text-align: right;">121,971 円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">内訳</td> </tr> <tr> <td> 講師等謝金・旅費</td> <td style="text-align: right;">105,580 円</td> </tr> <tr> <td> 会議費</td> <td style="text-align: right;">11,489 円</td> </tr> <tr> <td> 雑費</td> <td style="text-align: right;">4,902 円</td> </tr> </table>	合計	121,971 円	内訳		講師等謝金・旅費	105,580 円	会議費	11,489 円	雑費	4,902 円
合計	121,971 円										
内訳											
講師等謝金・旅費	105,580 円										
会議費	11,489 円										
雑費	4,902 円										